

西国巡礼慈悲の道

西国第十五番 新那智山

今熊野観音寺

仏性を磨く

山主 藤田浩哉

お父様、お母様の愛情を一心に受けてこの世に生ま

を失ってしまうことがあります。

れてくる赤ちゃん。本当にかわいく正に宝物です。手

仕方のないことではあります。非常にもったいないことです。

はもみじの様に愛らしく、心は全く穢れない純真無垢な仏様の姿です。人は誰でもこの様に仏様の心（仏性）を持って生れてきます。

この垢や埃を取り除く旅、それが西国巡礼なのです。巡礼の道中に目に触れる

しかし私たちも日々の生活で、人との交わり、社会との関わりを通して、知らず知らずのうちに時にこの仏性に垢や埃が付き、輝き

山々の木々、海の波音、谷をわたる風の香り、同行の人たちとの語らい等、全てが新鮮な出会いと心の安らぎです。そしてたどり着い

た御本堂で御本尊様と向き合い、そつと手を合わせ、

をしようと慈しみと悲しみと真実を見抜く眼でもって生きていけばそれがそのまま観音様の道であるということ

日々の感謝をし、またわが身の未熟さに救いを求める。

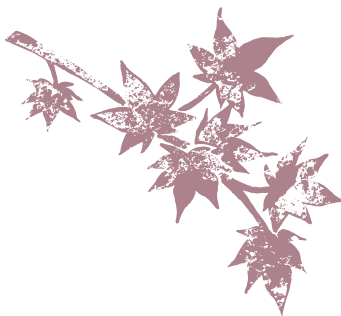
さあ皆さん手を取り合い、心を結び、御同行の方々と共に仏性を目覚めさせ、美しい輝きを取り戻しまし

観音様は慈悲の仏様、大きな慈しみをもって私たちを救って下さいます。

西国巡礼を通して、輝きを失ってしまった自分の仏性を救って下さるように願う心、さらにはこの大慈大悲の心を持たれた観音様の御心を私たちも持ち、少しでも観音様に近付きたいと願う心、その心を磨く西国巡礼の旅、それこそが私たちの仏性を取り戻す行なのです。

西国巡礼を通して、輝きを失ってしまった自分の仏性を救って下さるように願う心、さらにはこの大慈大悲の心を持たれた観音様の御心を私たちも持ち、少しでも観音様に近付きたいと願う心、その心を磨く西国巡礼の旅、それこそが私たちの仏性を取り戻す行なのです。

観音経の一節に「悲観及慈観」という偈文があります。人はどのような生き方



西国第十五番

新那智山

いまくまのかんのんじ
今熊野観音寺

真言宗泉涌寺派

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／弘法大師空海上人

むかしより たつともしらぬ いまくまの

ほとけのちかい あらたなりけり



観音風光

今熊野観音には昔から珍しい枕の信仰があります。後白河法皇が頭痛でお悩みのときに観音さまが枕元に立たれて御霊験を發せられたことから枕の信仰が生まれました。今でも、多くの人々が毎朝ご祈祷される「枕カバーのお護り」を授かっておられます。皆さまも是非、この御利益を受けてお参りください。

主な年中行事

- 正月三ヶ日 初詣・修正会
- 一月十五日 新年開運厄除大祈願祭
- 成人の日 泉涌寺七福神巡り(恵比寿神奉安)
- 三月彼岸中日 春季彼岸会法要
- 六月十五日 弘法大師ご誕生法要(青葉祭)
- 八月十六日 お盆施餓鬼法要
- 九月彼岸中日 秋季彼岸会法要
- 九月二十一日～二十三日
- 四国八十八カ所霊場お砂踏み法要
- 十一月下旬 もみじ祭り
- 毎月十五日 永代供養法要

〒605-0977 京都市東山区泉涌寺山内町32

TEL 075-561-5511 <http://www.kannon.jp/>

納経時間 午前8時～午後5時

仏教用語一口解説

四無量心とは

四梵行ともいいます。人が日々大切にしなければならない心掛けで、四つの広大な利他（人の為に尽くす）の心を表す言葉です。①人々に無量の樂を与えようと願う心（慈無量心）②人々の苦しみを取り除き、救いの手を差し伸べたいと限りなく願う心（悲無量心）③人が樂を得るのを妬まず、限りなく喜ぶ心（喜無量心）④愛憎親怨の心を捨て、人々を平等に利したいと願う心（捨無量心）をいいます。

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきます。